

平成27年度
やまがた緑環境税活用事業の取組状況
(8月末現在)

県民みんなで支える新たな森づくり



やまがた緑環境税活用事業

平成27年9月

山 形 県

～ 目 次 ～

I 環境保全を重視した施策の展開	P	1
NO. 1-1 荒廃森林緊急整備事業	P	2
NO. 1-2 森林資源再生事業	P	3
NO. 1-3 森林資源循環利用促進事業	P	4
NO. 1-4 やまがた木のある暮らし・街づくり促進事業	P	5
NO. 1-5 広葉樹林健全化促進事業	P	6
NO. 1-6 ナラ枯れ被害対策検証事業	P	7
II 21世紀にふさわしい県民と森林の関わりの構築		
NO. 2-1 県民みんなで支える森・みどり環境公募事業	P	8
NO. 2-2 みどり環境交付金事業	P	15
NO. 2-3 やまがた絆の森プロジェクト推進事業	P	20
NO. 2-4 森林保全のための大型野生動物モニタリング事業	P	21
NO. 2-5 生物多様性戦略推進事業	P	23
NO. 2-6 大型鳥獣等野生復帰事業	P	25
NO. 2-7 総合クマ対策推進事業	P	27
NO. 2-8 自然環境学習推進事業	P	29
NO. 2-9 総合支庁実施事業		
NO. 2-9-1 ・里山の森づくりサポーター育成事業	P	30
NO. 2-9-2 ・最上の自然環境教育マスター養成事業	P	32
NO. 2-9-3 ・みんな一緒に森林活動フィールド振興事業	P	34
NO. 2-9-4 ・おきたま森林・自然環境学習推進事業	P	36
NO. 2-9-5 ・出羽庄内公益の森づくり事業	P	38
III 新たな森づくりの推進		
NO. 3-1 やまがた緑県民会議	P	40
NO. 3-2 みどりの循環県民活動推進事業	P	42
NO. 3-3 森づくりサポート体制推進事業	P	44
NO. 3-4 森林の水源涵養機能の理解促進	P	47
NO. 3-5 やまがた緑環境税広報事業	P	49

項目	環境保全を重視した施策の展開		NO	1
事業名	1-1 荒廃森林緊急整備事業 1-3 森林資源循環利用促進事業 1-5 広葉樹林健全化促進事業	1-2 森林資源再生事業 1-4 やまがた木のある暮らし・街づくり促進事業 1-6 ナラ枯れ被害対策検証事業		
事業費	732,885 千円	担当部局課	農林水産部	林業振興課

1-1 荒廃森林緊急整備事業

管理放棄された人工林や病害虫等により荒廃した里山林のうち、水源地域の森林や集落に近い森林など、県民生活に密接に関わり緊急度の高い森林を整備する。

- 1 水源かん養など公益的機能の高い森林の育成（針広混交林整備）
- 2 スギ人工林の再生を起点とした環境に配慮した森林経営の展開（長期育成林整備）
- 3 病害虫等で荒廃した里山林の再生（里山林整備）

・平成27年度計画 1,300 ha

1-2 森林資源再生事業

再造林とその後の保育施業を、森林組合等が森林所有者に代わって一元管理し、森林の公益的機能を持続的に発揮する仕組みを構築

・平成27年度計画 53 ha

1-3 森林資源循環利用促進事業

①合板等利用促進事業

間伐により発生した木材のうち低質で通常の市場取引が困難な木材について、合板やチップ等の原材として工場に出荷した場合、一定額を助成する。

（県外搬出：600円/m³、県内搬出：400円/m³）

②バイオマス燃料利用促進事業

間伐等により発生した木材のうち低質で通常の市場取引が困難な木材について、燃料用のペレットやチップの原料として工場に出荷した場合、一定額を助成する。

（燃料用：2,000円/m³、発電用（地域外）：1,000円/m³、経営計画森林：500円/m³）

・平成27年度計画

合板等利用促進事業	38,000 m ³
バイオマス燃料利用促進事業	25,000 m ³
合計	63,000 m ³

1-4 やまがた木のある暮らし・街づくり促進事業

豊かな木のある暮らしの実現に向けて、未利用間伐材を活用した木工製品の普及と利用拡大を図る。

・平成27年度計画 木工品コンテスト 一式

1-5 広葉樹林健全化促進事業

ナラ枯れ被害木を含む広葉樹林を伐採し、害虫の駆除と木材の有効活用を図るとともに、森の若返りによる森林の再生を図るため、広葉樹林の伐採・搬出を行なう森林所有者や素材生産業者などに、経費の一部を助成する。

・平成27年度計画

広葉樹林の伐採・搬出支援	6,000 m ³
合成集合フェロモン設置	5箇所

1-6 ナラ枯れ被害対策検証事業

面的防除対策の実施

合成集合フェロモン（誘引剤）を用いたカシノナガクイムシの大量捕殺手法によるカシノナガクイムシの誘引効果と被害軽減効果を検証を行う。

・平成27年度計画

合成集合フェロモン設置	5箇所
専門家による検討会開催	1回

項目	環境保全を重視した森林整備の推進	NO	1-1
----	------------------	----	-----

事業名	荒廃森林緊急整備事業		
事業費	664,789 千円	担当部局課	農林水産部 林業振興課

1 目的

長期に管理放置され荒廃した森林の整備
 森林整備面積 11,600ha + 新たな荒廃森林 (平成19年度～平成28年度)

2 事業概要

荒廃森林緊急整備事業の実施

管理放棄された人工林や病虫害等により荒廃した里山林のうち、水源地域の森林や集落に近い森林など、県民生活に密接に関わり緊急度の高い森林を整備する。

- 1 水源かん養など公益的機能の高い森林の整備 (針広混交林)
- 2 スギ人工林の再生を起点とした環境に配慮した森林経営の展開 (長期育成林)
- 3 病虫害などで荒廃した里山林の再生 (里山林再生)

・平成27年度整備実施状況 1,153.5 ha (計画: 1,300 ha)

単位: 面積 ha

地区名	針広混交林		長期育成林		里山林再生		計	
	箇所数	面積	箇所数	面積	箇所数	面積	箇所数	面積
村山	4	72.8	18	161.7	4	38.5	26	273.0
最上			10	168.5	10	24.8	20	193.3
置賜			36	81.5	7	114.9	43	196.4
庄内			10	258.7	11	232.1	21	490.8
県計	4	72.8	74	670.4	32	410.3	110	1,153.5

項目	環境保全を重視した施策の展開	NO	1-2
----	----------------	----	-----

事業名	森林資源再生事業		
事業費	6,996 千円	担当部局課	農林水産部 林業振興課

1 目的

主伐後に再造林を行う仕組みを構築し、造林未済地の解消を目指す。

2 事業概要

- ・事業内容: 森林組合等が行う植栽に対し、経費の一部を支援する。
- ・事業主体: 森林組合等
- ・事業量: 50ha
- ・事業費: 6,996千円(やまがた緑環境税)
- ・補助率: 再造林の1ha当たり標準経費の10%相当額
(再造林に対する国庫補助事業を活用した場合、実質補助率は78%となる)

- ・平成27年度実施状況(8月末現在) 交付申請受付中

項目	環境保全を重視した施策の展開	NO	1-3
事業名	森林資源循環利用促進事業		
事業費	53,300 千円	担当部局課	農林水産部 林業振興課

1 目的

間伐で発生する低質材を合板等やペレット等のバイオマス燃料として利用するための搬出への支援。

2 事業概要

① 合板等利用促進事業

間伐により発生した木材のうち低質で通常の市場取引が困難な木材について、合板やチップ等の原材として工場に出荷した場合、一定額を助成する。

(県外搬出：600円/m³、県内搬出：400円/m³)

② バイオマス燃料利用促進事業

間伐等により発生した木材のうち低質で通常の市場取引が困難な木材について、燃料用のペレットやチップの原料として工場に出荷した場合、一定額を助成する。

(燃料用(間伐)：2,000円/m³、発電用(間伐・地域外からの出荷)：1,000円/m³、

燃料用・発電用(経営計画策定森林)：500円/m³)

・平成27年度実施状況(8月末現在)

合板等利用促進事業	28,830 m ³	(計画：38,000 m ³)
バイオマス燃料利用促進事業	6,780 m ³	(計画：25,000 m ³)
合計	35,610 m ³	(計画：63,000 m ³)

実施状況



林内からの集材



土場への集積・仕分け



トラックで工場へ運搬



用途ごとに
加工工場に運搬

ラミナ材加工工場

木質バイオマス燃料加工工場

合板工場

項目	環境保全に配慮した資源循環利用の促進	NO	1-4
事業名	やまがた木のある暮らし・街づくり促進事業		
事業費	1,250 千円	担当部局課	農林水産部 林業振興課

1 目的

県産木材を利用した木工品のコンテストを実施し、応募作品について作品集の作成や展示会の開催を通して木の良さを広く県民に知ってもらうことで、木のある暮らしの普及促進を図る。

2 事業概要

森林整備等に伴う未利用間伐材等を木工品に利用することは、材料としての木の良さ森林の大切さを感じてもらおうという点で有効である。しかし、県産木材を活用した木工品は、価格・デザイン等において未だ発展途上であり市場におけるシェアは極めて少ない現状にある。

このため、木工業者等を対象に、県産木材を活用した木工品のコンテストを実施する。また応募作品の作品集の作成や受賞作品の巡回展示を行い、県民に木の良さの理解を深めてもらうことで、県産木材の普及と木のある暮らしづくりを推進する。

・平成27年度実施状況（8月末現在）

実施準備中

項目	環境保全を重視した森林資源の循環利用の推進	NO	1-5
事業名	広葉樹林健全化促進事業		
事業費	6,250 千円	担当部局課	農林水産部 林業振興課

1 目的

- ① ナラ枯れ被害の拡大防止
- ② 広葉樹林の更新（若返り）
- ③ 森林資源の有効活用

2 事業概要

ナラ林を主体とする広葉樹林の小規模皆伐（おおむね5ha以下）を実施する森林所有者、森林組合、素材生産業者等に対し、伐採搬出経費や大量集積型おとり丸太の設置経費（合成集合フェロモンの誘引効果による面的防除）の一部を助成する。

3 平成27年度実施状況（8月末現在）

① 広葉樹の伐採搬出支援

456 m³
（計画量：6,000 m³）

② 面的防除支援「大量集積型おとり丸太の設置」

0 箇所
（計画：5 箇所）



伐採作業と集材・搬出の状況



森林資源の有効活用

「大量集積型おとり丸太」実施状況

項目	環境保全を重視した森林資源の循環利用の推進	NO	1-6
事業名	ナラ枯れ被害対策検証事業		
事業費	300 千円	担当部局課	農林水産部 林業振興課

1 目的

- ・面的防除対策の実施
合成集合フェロモンを用いた大量捕殺手法を実施する。

2 事業概要

- ・面的防除対策の実施
合成集合フェロモン（誘引剤）を用いたカシノナガキクイムシの大量捕殺手法によるカシノナガキクイムシの誘引効果と被害軽減効果を検証を行なう。

- ・平成27年度実施状況（8月末現在）

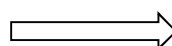
合成集合フェロモン設置

6 箇所
(計画5箇所)

専門家による検討会開催「ナラ枯れ被害拡大防止対策検討委員会」
1月開催予定

合成集合フェロモンを用いた大量捕殺手法

【おとり木トラップ】



被害地2箇所で
約1万頭/0.1haを誘殺

事前に殺菌剤を樹幹に
注入

①誘引剤として幹にエタノール
を設置し、カイロモンを発生
(木にドリルで穿孔)させる

②合成集合フェロモン
を設置しカシノナガ
キクイムシを誘引

③カシノナガキクイムシ
の誘引状況確認のため
粘着バンドを設置

※伐採を前提とした林分では殺菌剤を注入しない、誘引伐採木も実施

【おとり丸太トラップ】

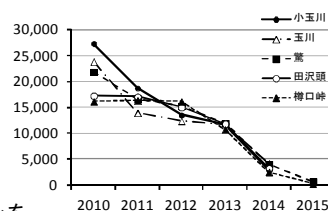


丸太を20m3以上に大量集積



丸太に合成集合フェロモンを
設置しカシノナガキクイムシを
誘引

カンナガ 推定誘引穿入虫数



同じ箇所で
6年連続設置
0にならない
★ 設置4~5年
で密度減少。0に
するには7年か?

被害時から同一箇所に大量集積型おとり丸太を6年設置
4年目1万頭/m3, 5年目3千頭/m3, 6年目千頭/m3以下
★ カシナガの密度を減らすには4~5年設置でいいが6年目で0になら